

多様な担い手の確保によるキクの産地づくり

要約

- ① 葛城市のキク産地の活性化を目指し、新たな担い手の確保としてキク産地づくりセミナーを開催。
- ② セミナー卒業者やセミナー2年目の受講生に対して、現地ほ場や出荷場での栽培指導・出荷支援を行うことで、新たな葛城花卉出荷組合員の定着、栽培面積の拡大を図った。

現状(背景)と課題

葛城市では高齢生産者のリタイヤでキク出荷量が減少し、有利販売が困難となり産地ブランド力の低下等が懸念されている。

産地の活性化を目指して、新たな担い手を確保するため「キク産地づくりセミナー」の開催し、新たに組合に入会した3人に対して、産地に定着させるために栽培技術・出荷支援等が必要である。



目標 (R8)

新規組合員増加数	2人
新たな担い手の栽培面積	40a

活動内容

- ① 新たな担い手の確保
対象：キク産地づくりセミナー基礎研修受講生（1名）
・新たな担い手の確保に向けたセミナー開催
- ② 担い手の定着支援
対象：キク産地づくりセミナー卒業生（2名）・実践研修受講生（1名）
・栽培のポイントや病虫害防除、出荷等に関する現地指導
・フォローアップセミナーの開催

成果

- ① 新たな担い手の確保
 - ・キク産地づくりセミナーは研修生に対して年間5回開催。受講生は基礎的な栽培技術の習得に加え、出荷組合員との顔合わせや機械、資材および親株の確保等についても支援を行った。
 - ・受講生はこれらの支援を受けたことで、令和7年4月にキク栽培を開始した。
- ② 担い手の定着支援
 - ・セミナー卒業生等に対する現地指導を年間15回、実践研修受講生に対するフェローアップセミナーを年間15回実施した。これらの普及指導により指導対象者の生産技術が向上したことで、新たに栽培面積を19a確保することができた。
 - ・これらの継続した取組によって、新たに4名の担い手を確保し、組合員数が増加に転じた。

普及活動のポイント

- ・キク産地づくりセミナーの開催・現地指導について、生産者団体、JAならけん新庄営農経済センター、葛城市役所と連携しながら活動を行った。
- ・セミナー開催については、今年度より多様な担い手の確保に向けて、定年退職後に就農を検討している方や学生の参加を見込み、土曜日の開催とした。
- ・出荷組合員との交流により、より実践的な生産・出荷技術の習得を図った。

対象の変化

新たな担い手育成の重要性が組合員に浸透し、セミナーや卒業生の指導に対し協力的になった。

対象者からのコメント

出荷組合事務局長より

セミナー開始から3年が経過し、新たに4名の組合員を確保することが出来た。今後も組合員と普及指導員が一体となって、新規組合員の支援や新たな担い手の確保に努めていきたい。

これからの活動ビジョン

- ① 産地の維持・発展には新規組合員の確保が不可欠であることから、キク産地づくりセミナーを継続開催する。また、多様な担い手の確保に向け、より効果的な募集方法や開催内容を検討する。
- ② 新規組合員が生産したキクの秀品率がやや低いことから、技術力の向上を図るために継続した支援を行う。



セミナー講義のようす



機械実習のようす



摘心作業



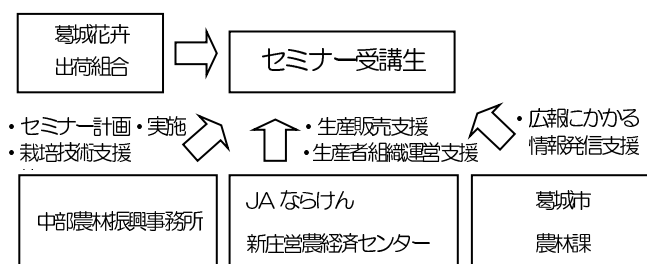
セミナー卒業生の指導



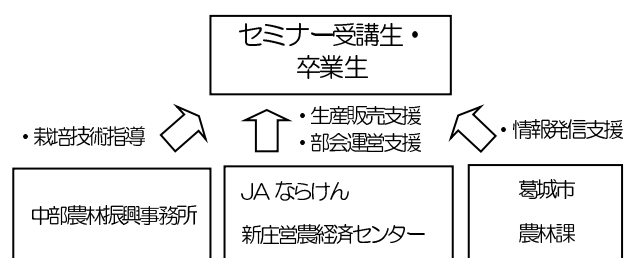
フォローアップセミナー

活動体制

① キク産地づくりセミナー開催



② セミナー卒業生・受講生支援



中部農林振興事務所農業振興課
担当：農産物ブランド推進係 大谷
リーディング品目支援事業